

請願第3号

住民の安全を脅かす陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の
陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について

令和元年6月3日受理

私たち新日本婦人の会は、女性と子供の幸せ、平和と暮らしの向上を願い、全国で運動している国連NGOの女性団体です。私たちは、次のことで請願することになりました。

陸上自衛隊新屋演習場で実施された適地調査の結果について、原田防衛副大臣より秋田県知事と秋田市長に対して伝えられました。「適地」であるとの報告及び住民の安全を考慮して①施設を住宅地から700メートル離れた場所に設置することや、②テロ対策として警備部隊などを200人から250人にふやすということ等も盛り込まれた内容でした。

有事の際は軍事施設が真っ先に攻撃対象になると言われており、700メートルの緩衝地帯が住民の安全につながるとはどうしても思えません。また、テロ対策としての警備部隊がミサイル基地を守ることを優先にし、住民を守るためという保障はありません。今回の報告は私たち住民が納得できるものではありません。

住宅密集地に隣接している新屋演習場が攻撃されたとき、住民の安全を守るすべはあるのでしょうか。今回当選された市議会議員の7割が新屋演習場への配備に反対していましたが、これは、住宅密集地にミサイル基地を配備するという常識ではあり得ないことや、住民の安全を守ることはできないといったことなどから判断したのではないのでしょうか。電磁波による健康被害やミサイル攻撃をされた場合の安全対策等に納得がいく説明ができない配備を私たちは許すことができません。

江戸時代、砂害から住民の命と安全を守るために命がけで松林をつくったという歴史のある新屋の地。この地を政治の判断で命の危険におびえる場所にしてはなりません。今を生きる私たちには、これからも安心して暮らせる秋田を子供たちに手渡す責任があります。住民の立場に立った「適地」とは、命を脅かす軍事基地がない地のことです。議員の皆様には安全な秋田を未来に手渡す仕事を一緒に取り組んでくださるよう心よりお願いいたします。

つきましては、秋田市議会として、陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画に反対する決議をしていただくよう請願いたします。

請願第4号

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）
配備計画反対に関する決議について

令和元年8月27日受理

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）
配備計画については、ここ数回の市議会定例会でも議論され、そのたびに調査結果
が出ていないなどの理由から、結論が先送りされてきました。

しかし、防衛省は、丁寧な説明を行うとしながらも、たびたび行われた説明会で、
住民が知りたい疑問に誠実に答えようとはしてきませんでした。その上、調査報告
書の内容に重大な誤りがあったにもかかわらず、都合のよい理屈を並べて新屋演習
場のみを適地とするなど、新屋演習場ありきで計画を強引に推進しようとする態度
に、不信感は募るばかりです。

中距離核戦力（INF）全廃条約が失効し、アメリカ・ロシア・中国などによる
核軍拡競争の激化が懸念されています。そうした中、アメリカと防衛協力関係にあ
る日本にイージス・アショアが配備されれば、これらの国々の軍拡競争に結果とし
て日本も加担することとなり、攻撃的とされる危険性は以前にも増して強まるに
違いありません。

さきの参議院議員選挙結果やNHKなどによる出口調査、秋田魁新報社が行った
世論調査でも明らかなおり、秋田県民や秋田市民の意思はイージス・アショアの
配備に反対です。住民の代弁者である議会は、そうした住民の声を重く受けとめ、
議会の決定に反映すべきです。

つきましては、秋田市議会として、秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス
・システム（イージス・アショア）配備計画反対の決議をするようお願いいたします。

請願第5号

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）
配備計画反対に関する決議について

令和元年8月27日受理

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）
配備計画について、秋田市議会は、判断する段階にないなどの理由から結論を先送りにしてきました。しかし、防衛省が説明すればするほど、防衛省に対する不信と反対の声は大きくなっています。さきの参議院議員選挙結果やNHKなどによる出口調査、秋田魁新報社が行った世論調査でも明らかなおり、秋田市民や秋田県民の意思はイージス・アショアの配備に反対です。

これまで、防衛省は、説明会で参加者から多くの疑問や反対の声が出されているにもかかわらず、丁寧に説明していきたいと繰り返すなど、配備ありきの姿勢を崩そうともしませんでした。その上、調査報告書の内容にずさんな誤りがあったにもかかわらず、さまざまな理由をつけて、新屋演習場のみを適地とするなど、もはや、世論が賛成に転ずる要素は見当たりません。

もし、住宅地のそばにミサイル基地を配備すれば、長い間、近隣住民は不安と隣り合わせの生活を強いられることになります。私たちの子や孫に、どこに住んでいても、安心して暮らすことができる秋田のまま手渡すことが、私たちの世代の責任です。住民の代弁者である議会は、そうした住民の声を重く受けとめ態度を決定するべきと考えます。

つきましては、秋田市議会として、秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対の決議をしてくださるようお願いいたします。

請願第6号

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア） 配備計画反対に関する決議について

令和元年8月27日受理

秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画について、秋田市議会は、これまで判断する段階にないなどの理由から結論を先送りにしてきました。しかし、防衛省が説明すればするほど、防衛省に対する不信と配備反対の声は大きくなっています。さきの参議院議員選挙結果やNHKなどによる出口調査、秋田魁新報社が行った世論調査でも明らかなおり、秋田市民や秋田県民の意思はイージス・アショアの配備に反対です。

これまで、防衛省は、説明会で参加者からの多くの疑問や反対の声に対して丁寧に説明していきたいと繰り返すばかりで、配備ありきの姿勢を崩そうともしませんでした。その上、調査報告書の内容にずさんな誤りがあったにもかかわらず、さまざまな理由をつけて、新屋演習場のみを適地とするなど、もはや、世論が賛成に転ずる要素は見当たりません。

もし、住宅地のそばにミサイル基地を配備すれば、長い間、近隣住民は不安と隣り合わせの生活を強いられることとなります。私たちの子や孫に、どこに住んでいても、安心して暮らすことができる秋田のまま手渡すことが、私たちの世代の責任です。住民の代弁者である議会は、そうした住民の声を重く受けとめ態度を決定するべきと考えます。

つきましては、秋田市議会として、秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対の決議をしてくださるようお願いいたします。